



9月21日(土)、22日(日)、員弁三大祭りの一つ「弁天祭り」が開催されました。この祭りは、桑名藩第五代藩主松平(久松)越中守定綱の遺徳を称え、大溜来遊の際の大名行列をしので行われます。水争いをしてきた笠田新田と大泉新田の両地区が参加する本祭が、今年21年ぶりに行われ、獅子舞、笛、太鼓、鉦が町中をにぎわせました。「ヤーッサイ!」という掛け声を上げ、大人も子どもも協力して華やかな山車を引いて盛り上がる様子を撮影しました。

1. 大泉新田のやぶさめ姿の稚児(乗り子)。馬に乗って山車を先導します。2. 8. 9. 口取と獅子。お囃子に乗って約45分間獅子が舞います。3. 21日に行われた試楽の様子。4. 笠田新田と大泉新田の山車が太鼓居をはさんですれ違う様子。本祭でしか見れないこの光景は21年ぶり。ここで太鼓をたたき合いました。5. 7. 地域の人々が一体となって山車を引き、地内を練ります。6. 笠田新田の花笠が力いっぱい太鼓をたたきます。



弁天祭り